



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 特別養護老人ホーム上永谷町新築工事	階数	地上3F
建設地	横浜市長南区野庭町字政所1993-6、上永谷町字西洗4610-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	170 人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,570 時間/年(想定値)
建物用途	病院工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年11月8日
敷地面積	6,567 m ²	作成者	村田友弘
建築面積	2,820 m ²	確認日	2020年11月11日
延床面積	7,065 m ²	確認者	池田 貴久

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 利用者のプライバシーなどを確保しながら、住環境の向上を目指した計画とする。 地域交流スペースなどを計画し、地域に貢献する施設計画とする。		その他
Q1 室内環境 バルコニーを設けて適度な採光を確保している。	Q2 サービス性能 給排水配管の2種類以上B以上を使用し、Eは不採用。衛生配管において、構造部材を痛めることなく更新できる。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地の確保や広場を計画している。
LR1 エネルギー 高効率照明器具(LED)の採用。	LR2 資源・マテリアル 節水コマの取り付け、及び節水型洋風便器・小便器の採用。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用せず、大気汚染防止に努める。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



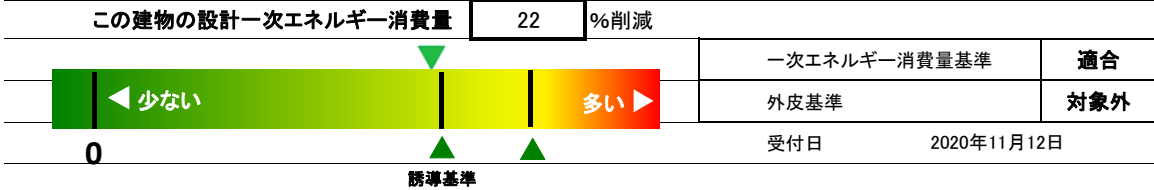
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)特別養護老人ホーム上永谷町新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPI_m=0.73

③BEI_m=0.78

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰給排水配管の2種類以上にB以上を使用し、Eは不採用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑳地域に開放した広場を設置

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)特別養護老人ホーム上永谷町新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境										2.6
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00			3.0
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1		開口部遮音性能		3.0	0.44	3.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.56	3.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20			-
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00			2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50			-
1		室温	快適・働きやすさ	3.0	0.38	3.0	0.57			-
2		外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.25	3.0	0.43			-
3		ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境				3.0	0.25	3.4	1.00			3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.2	0.40			-
1		昼光率	快適・働きやすさ	3.0	0.60	5.0	0.60			-
2		方位別開口		-	-	-	-			-
3		昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.40			-
1		昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.20			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境				2.8	0.25	3.3	1.00			2.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63			-
1		化学汚染物質	快適・働きやすさ	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38			-
1		換気量	快適・働きやすさ	3.0	0.46	3.0	0.33			-
2		自然換気性能		3.0	0.07	3.0	0.33			-
3		取り入れ外気への配慮		1.0	0.46	1.0	0.33			-
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-			-
1		CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	1.0	0.11	-	-			-
2		喫煙の制御	快適・働きやすさ	1.0	0.89	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.0
1 機能性				2.9	0.40	3.0	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ				2.8	0.40	3.0	0.60			-
1		広さ・収納性	快適・働きやすさ	3.0	0.07	3.0	1.00			-
2		高度情報通信設備対応		1.0	0.07	-	-			-
3		バリアフリー計画		3.0	0.86	-	-			-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40			-
1		広さ感・景観	快適・働きやすさ	3.0	0.07	3.0	0.50			-
2		リフレッシュスペース		3.0	0.07	-	-			-
3		内装計画		3.0	0.86	3.0	0.50			-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1		耐震性	防災	3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能	防災	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数	防災	3.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	3.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	3.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	4.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔	防災	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備	防災	3.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備	防災	2.0	0.20	-	-			-
3		電気設備	防災	3.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法	防災	3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備	防災	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				3.3	0.30	2.9	1.00			3.2
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	2.8	0.50			-
1		階高のゆとり		4.0	0.60	2.0	0.60			-
2		空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-
6		バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)特別養護老人ホーム上永谷町新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.32	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		3.3	0.50	-	-	3.3
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				-	-	-	-	-
3 冷媒				3.0	1.00	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目				-	-	-	-	-
<事務用途>				-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>				-	-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-